

調査報告 5：田舎暮らし体験の提供（アストロステイ）～国内外での事例～

アストロステイとは：天体観測をメインに天文学のガイドの他、地元の芸術、工芸品、料理、先住民の民間伝承などを提供する観光プログラムです

実例

ラダック地方

天文学の基礎と望遠鏡の操作方法、おもてなしや宿泊客への食事の提供方法等の研修を受けた 35 名の女性村民が、アストロステイを観光客に提供



スタービレッジ阿智（長野県阿智村）

2006 年に環境省が実施する全国星空継続視察において星の観察に適した場所、第 1 位に選出された経歴あり。

観光客は 6,535 人（2012 年）から 140,018 人（2018 年）に増加。

顧客の半数が地元温泉に宿泊。夜のイベント時間に合わせた食事の提供、イベント会場までの送迎バスの運行、星空ナイトツアーと一体になった宿泊プランの開発等、温泉宿泊施設とも連携。



アストロコテージ（石川県能都町）

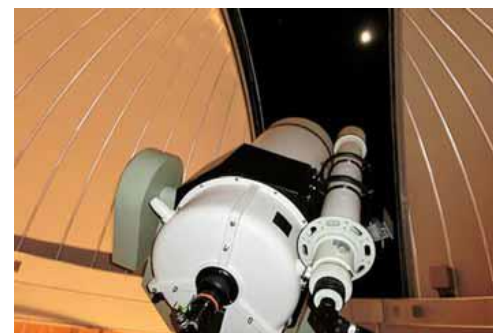
ふるさと振興課が管理する「やなぎだ植物公園」は 30ha に生態別に整理された植物園を遊歩道が繋ぐ形で整備。

上空からみると星形をしているコテージは、8 人が宿泊でき天体観測ドームと大型望遠鏡が付いた 3 棟と、10 人が宿泊でき小型望遠鏡が付いた 3 棟がある。

他に BBQ 場や古民家を使った休憩処、希少な能都牛を供するレストランなどが園内に併設されている他、グランドゴルフやなどが体験できる。



アストロコテージ



石川県内最大の 60cm 反射望遠鏡

星取県（鳥取県）

『星』を観光資源として『星取県（ほしとりけん）』と名乗り、PR 活動を行う。

鳥取県は、環境省の全国星空継続視察で 12 回、日本一に輝いた実績あり。

特設サイトでは県内の星空 MAP や当日の星空予想、星空を活用した体験メニュー、宿泊施設といった情報をホームページ上で掲載している。

鳥取県は『星空条例』を定め、星空環境の保全や環境教育の推進、星空観測の障害となるサーチライトを原則禁止する等、全县をあげて取り組む。



google マップ上で星空マップを掲載